



千葉市に必要なのは「住民福祉の増進」です 市民に寄りそう予算の組み替えを提案

提案

市民に優しい予算へ組み替え提案

学校給食無償化、外出応援パス導入を!

新年度予算は、子育て支援や教育施策の充実などの市民要望を反映した事業にも配分がされている一方で、国民健康保険料の引き上げ等により、市民の命と健康を脅す福祉カットが続けられています。

物価高騰から市民生活を守るため、必要性が乏しく、不急の事業である大型開発の見直しとともに、自主財源を確保して市民生活・福祉の向上に活用することが必要だと考え、予算の組み替え動議を提出しました。



動議

組み替えを提案した主な事業

(歳出削減) 急がなくても良い開発予算の削減で**36億円**

- 中央公園・通町公園連結強化 15億9,603万円
- 三越跡地の商業・住宅複合施設への補助 11億9,000万円
- 企業立地補助金(所有型全体額1/2削減) 7億2,232万円

財政調整基金(市の貯金) 34億円活用など



予算組み替えで得られた財源で充てる主な事業

- 学校給食の無償化を中学校から段階的实施 12億円
- 高齢者の外出応援パス制度の導入 7億円
- 保育の無償化対象者の拡大 6億円
- 国民健康保険料の値上げ中止 5億1,000万円
- 心身障害者福祉手当カットをやめ復元 2億3,790万円
- トイレトレーラーを導入で災害対策強化 2,400万円など

党市議団の学校給食費の無償化の提案について、自民党会派は「国がやるまで待つ」神谷市長の姿勢と同じ立場を表明。

独自の努力で給食費無償化を実施している自治体もあります。党市議団の提案を「無責任」と批判するのではなく、市民の願いに寄り沿うべきです。

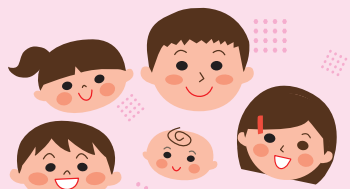


実現

党市議団が提案してきた事業等

新年度予算には、これまで党市議団が求めてきた事業が前進、実現しました。

- 小中学校体育館へのエアコン整備
- 公立保育所の主食提供がすべての公立保育所で実施
- バス停ベンチ設置60か所の予算化
- 中央区に新東部児童相談所の整備
- 带状疱疹ワクチン接種の助成を実施
- 子ども、若者を支援する若者支援室(担当課)を設置



大型開発と大企業優先の市政の転換を



事業の必要性が問われる中央公園・通町公園連結事業

30億

千葉神社前の通町公園を神社の参道風に整備するため、総額30億円を投じる計画です。

企業立地により、大企業等の固定資産税・都市計画税相当額を補助するのに今年度は21億円。一方で、地域経済を支える商店街全体の整備補助金は3012万円のみ。

千葉市の企業立地予算の推移

